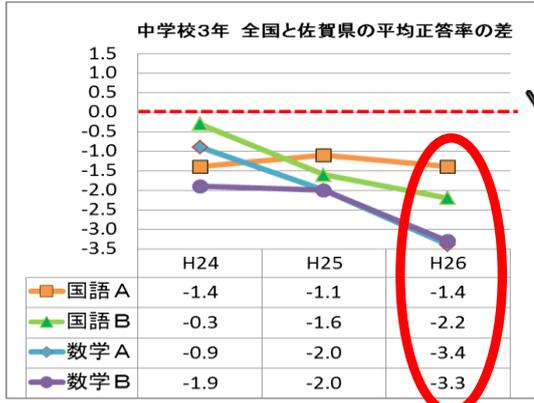
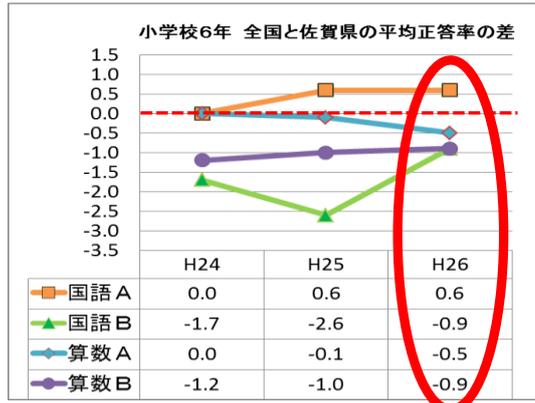


全国学力・学習状況調査をふまえて…

8月25日、小学校6年と中学校3年の全員を対象に実施された平成26年度全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。文部科学省は「平均正答率（公立）が低い3都道府県の平均を見ると、全国平均との差は縮小傾向にあり、学力の底上げが進展している」と分析しています。一方で、佐賀県の結果を見てみると、小学校6年の国語Aにおいて全国平均を上回ったものの、他の7項目においては全国平均を下回る結果となりました。全国平均正答率と佐賀県平均正答率との差を下のようにグラフにしてみると、全国との差が開いてきている項目があることもわかります。佐賀県の中学校は全国との差が縮まったとは言えない状況にあるのではないのでしょうか。



そこで、今後ますます、各学校で計画した学力向上対策評価シートにある取組を充実させ徹底していく必要があります。自校の学力・学習状況調査を分析し、把握した課題を授業や家庭学習等で改善していくことが重要です。そのために、学力向上対策コーディネータを中心として全職員が一丸となり、共通実践していく、充実した取組を行っていきましょう。

【お知らせ】 佐賀県学力向上対策研究部会 授業公開！

佐賀県の学力向上対策研究部会が授業公開を行います。西部教育事務所管内では、中学校国語・小学校算数の授業が行われます。取組の柱は(1)めあてとまとめを大切に**する授業** (2)説明させる**授業**です。西部型授業を基本にした授業です。積極的な参加をお願いします。(詳しい案内は佐賀県教育政策課の文書にて)
 ◆中学校国語(11月13日 有田中) ◆小学校算数(10月17日 長松小, 12月4日 福富小)

シリーズ！学力向上のための手びき「考える」編

主体的に学ぼうとする子どもの姿が自力解決を行う学習過程に表れます。子どもたちが学ぶ喜びを味わうために、自分の力で考えさせることが大切になります。そこで【考える】過程において、以下の点に気を付けて授業を組み立てるようにしましょう。

Point1 一人またはグループで、じっくりと考える。

- ・活動時間を予め伝えておくこと！
- ・解決のための見通しをもたせておくこと！

Point2 自分の考えをまとめ整理するために条件に沿って書く活動を取り入れる。

- ・キーワードを使って
- ・図や表などに
- ・根拠や理由を
- ・結果だけでなく、解決の過程を
- ・資料を比較し、考えたことを

Point3 児童生徒を個別に支援する。

- ・自力解決できない子どもへのワークシートやヒントコーナー等の準備を！
- ・処理の速い子どもには他の考え方や新しい課題を！

子どもが考えている時は新たな発問や指示を控えるようにしましょう。

自分の考えをノートに書く

自分の考えを最後まで書き表せない場合でも、途中までの考えをもたせ、話し合いの場で広げ深めさせるようにしましょう。

